

令和2年第2回多摩川衛生組合議会定例会  
管理者挨拶・行政報告（令和2年11月13日）

本日は、各市とも定例議会の開会中もしくは間近に控えまして、大変お忙しいところ、令和2年第2回多摩川衛生組合議会定例会にご出席を賜り、誠にありがとうございます。

本年2月14日に開催されました定例会以降の組合の概況につきまして、ご報告を申し上げます。

はじめに、平成31年度のごみ処理等の実績につきましてご報告いたします。

可燃ごみ搬入量につきましては9万2,664トンで、そのうち組合構成4市が8万8,636トン、小金井市のごみ処理支援量は4,028トンとなっております。

平成30年度と比較しまして、全体で745トンの増で、内訳といたしましては、組合構成4市の搬入量は2,211トンの増、小金井市のごみ搬入量は1,466トンの減となっております。

不燃・粗大ごみの搬入量につきましては2,935トンで、平成30年度と比較しますと、177トンの増となっております。

次に、し尿処理の状況ですが、平成31年度の投入量につきましては、多摩市及び三鷹市からの受託分を含めまして2,240キロリットルで、平成30年度と比較しますと、40キロリットルの増となっております。

次に、発電設備の状況といたしまして、平成31年度の総発電量につきましては2,844万4,457キロワットアワーで、そのうち、売電電力は1,420万7,334キロワットアワーとなり、売電収入につきましては1億6,523万190円となりました。

次に、施設の見学につきましてご報告を申し上げます。平成31年度の見学者につきましては小学生を中心に合計で74団体、4,301人の皆様に組合施設を見学していただきました。

以上が平成31年度のごみ処理等の実績でございます。

次に、令和2年度上半期のごみ処理等の実績につきましてご報告いたします。

可燃ごみの搬入量につきましては、4万6,466トンとなっております。

不燃・粗大ごみにつきましては、1,692トンが搬入されております。

し尿処理量につきましては、971キロリットルとなっております。

三鷹市のし尿の処理量につきましては、令和2年度の契約量は200キロリットルでございますが、9月末現在、81キロリットルで契約量の41%となっております。

また、昨年10月の台風19号に伴う風水害により甚大な被害のあった宮城県大崎市の災害廃棄物について、被災自治体及び受入自治体となる6者で締結した「令和元年台風第19号に伴う災害廃棄物の処理に関する協定書」に基づき、大崎市の災害廃棄物の受け入れ処理をすることといたしました。

受け入れ処理実績につきましては、令和2年4月から10月末までに合計281トンとなっております。

次に、監査につきましてご報告を申し上げます。令和2年6月29日に平成31年度2月分から5月分及び令和2年度4月5月分を、令和2年8月26日に令和2年度6月7月分及び平成31年度決算審査を、令和2年10月27日に令和2年度8月9月分をそれぞれ実施していただきました。

なお、平成31年度の決算につきましては、本日の議会定例会において監査委員からの審査意見書を添え、上程いたしております。

最後に、多摩川衛生組合議員等行政視察につきましては、昨年は台風19号の影響で視察地である長野県内に甚大な被害が発生している状況等に鑑み、やむなく中止され、本年10月に延期をしたところですが、新型コロナウイルス感染拡大の予防の観点から、昨年に続き本年も中止することとなりました。

本定例会には管理者提出議案といたしまして、平成31年度多摩川衛生組合一般会計歳入歳出決算の認定、令和2年度多摩川衛生組合一般会計補正予算など4議案を提出させていただきます。

よろしくご審議の上、ご承認を賜りますようお願い申し上げます。以上、ご挨拶と合わせて行政報告といたします。